

「まいにち笑顔 みんなが笑顔」

明後日から WBC (World Baseball Classic) といって野球の世界大会が日本で行われます。これには、アメリカの大リーグで活躍する大谷選手やダルビッシュ選手の他、日本で最年少三冠王となった村上選手が出場し、今までにないドリームチームともいわれています。実際、昨日の強化試合で、大谷選手は2打席連続ホームランで6打点を挙げています。そんな日本ですが、大会が始まった2006年、2009年の2大会連続で優勝して以来、その後の2大会は3位で終わっています。実は、この優勝した2大会には、大谷選手やダルビッシュ選手よりも先に大リーグで活躍していた選手が出場していました。2学期の始業式で「凡事徹底」の話をしたときにも紹介したイチロー選手です。

イチロー選手といえば、記憶に残るだけでなく、数々の記録を塗り替えてきた選手です。その中で、2016年、イチロー選手が大リーグ通算3000本安打という大記録を達成しました。アメリカでイチロー選手は、野球だけでなくフェアな姿が絶賛され、たくさんのファンがいました。

ところが、本国日本ではこの記録を達成する前になって次のようなCMが流れました。

「イチローが嫌いだ。あの人を見ていると、限界という言葉が言い訳みたいに聞こえるから。」

「イチローが嫌いだ。あの人を見ていると、自分にウソがつけなくなるから。」

「イチローが嫌いだ。あの人を見ていると、努力すら楽しまなきゃいけない気がするから。」

「イチローが嫌いだ。あの人を見ていると、どんな逆風もチャンスに見えてくるから。」

「嫌いだ」と言っているのは、4人ともオリンピック・パラリンピックの代表選手でした。もちろん、本心から嫌いなわけではないのですが、最後にこんな言葉が流れます。

「でも、同じ人間のはずだ。」

これは、イチロー選手のようなアスリートに少しでも近づきたいという憧れがあっても、簡単な道ではない。それを成し遂げているイチロー選手への最大に称賛した言葉が「嫌いだ」になっているのです。それでも負けずに頑張ろうという思いが、最後の言葉に表れているのです。

大谷選手も、自分で限界を決めずに頑張っているのだと思います。活躍した昨日のインタビューも、まだまだ力を出せるといった内容でした。そんな大谷選手も七小のみんなと同じ小学生のころがあり、同じ人間のはずです。